

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学：Lakehead University

現在の学期：Fall Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	11:30~13:00 Intro to Film Studies
火	10:00~11:30 Finish Migration to North America 1850-1960 14:30~17:30 Indigenous People and the Land
水	11:30~13:00 Intro to Film Studies
木	10:00~11:30 Finish Migration to North America 1850-1960 14:30~17:30 Technology, Society, and Indigenous Peoples of Canada
金	
土・日	

履修科目や近況について

授業：

もともと予定していたカナダの食や食制度に関する授業が留学期間中に開講されなくなったため、カナダでしか学べない移民と社会システム分野、英語の授業を中心に履修しました。留学生は教授の許可を取ることで学年関係なく授業を履修することができます。

Intro to Film Studies は映画を美的、技術的視点だけでなく歴史的、政治的、文化的視点から分析する方法について学ぶ1学年を対象にした授業です。授業は週に2回あり、授業中に映画のワンシーンを見て与えられたトピックについてディスカッションやライティングを行います。ターム期間中に MLA スタイルの分析レポートを3回提出し、最終回にはテストがある予定です。

Finish Migration to North America 1850-1960 はカナダへ移住したフィンランド人の歴史について週に2回学ぶ3学年を対象とした授業です。授業内では自分の家族の移住の歴史についてのエッセイとそのプレゼン、映画を見て分析するグループプレゼンテーションがあります。すでに最初のプレゼンがあり、私は自身の国内移動の歴史とその要因、地元の紹介とそこに定住している理由などについてプレゼンを行いました。

Indigenous People and the Land は先住民の視点から土地とアイデンティティ形成の関係、植民地主義について学ぶ3学年向けの授業です。週に1回3時間行われ、毎回事前論文やビデオを視聴し、授業内で担当グループがプレゼンを行い、その話題について

ディスカッションを行います。私の担当は先住民と天文知識です。他にも先住民の抱える問題とその解決策を提案するペアプレゼンや音声ターム期間中の自然の移り変わりを記録してプレゼンをしたり、先住民族の復興に関する期末レポートを提出したりする予定です。実際にキャンパスを歩いて自然に触れるなどこの地域に深く関わりながら学ぶことができます。

Technology, Society, and Indigenous Peoples of Canada はカナダの社会システムについて教科書、論文、TED などから学ぶ 2 学年向けのオンラインの授業です。1 か月ごと、計 3 回の試験の点数によって評価されます。

私がとっている Lakehead 大学の授業は 20 人の少人数クラスで生徒が積極的に授業に参加できる環境にあります。どの授業もディスカッションやグループワーク、プレゼンといった意見の発信の機会が多くあり、苦戦する場面も多いです。特にディスカッションは事前に知らされることがなく突然全員の前で発表することになるのでいつも緊張しますが、恥をかくつもりで思い切って臨んでいます。シラバスを見てテーマを確認し、文献がある場合は事前に読み関連しそうなことを調べ、意見を用意しておくなどの準備をしています。プレゼンではほかの学生のプレゼンスキルに圧倒され刺激を受けています。これからも発言の機会が多くあるので積極的に関わっていきたいです。どのクラスも日本人は私だけです。Fall Term は計 4 人の交換留学生在が日本から来ていますが、学部も校舎も違うため、なかなか会う機会がありません。All English の環境で毎日多くのことを学びながら過ごしています。



↑ 映画分析の授業の様子



↑ キャンパス内の様子

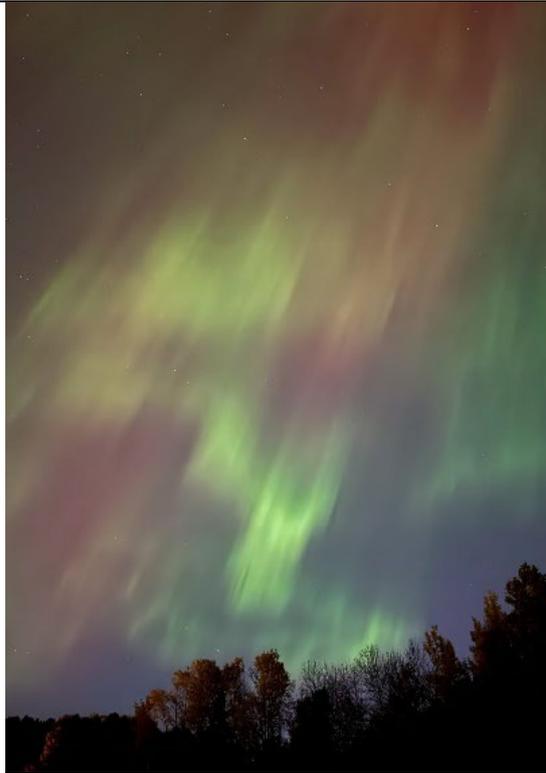
近況：

カナダに来てから本当に充実した毎日を送っています。オリエンテーション期間にはキャンパス内、Thunder Bay 市内ともにカジノナイトやピクニックなど多くのイベントがあり、地域の人々や大学の学生、同じ寮に住む留学生などと毎日関わり多くの友人を作ることができました。世界各国から交換留学生やインターナショナル生が来ているので交流するのがとても楽しいです。授業が始まってからも週に何度か寮対抗のスポーツイベントやお出かけイベントなどがあるのでホームシックになることなく過ごせています。これまで Sleeping Giant, Eagle Canyon, ボートツアーや、ホッケーゲーム観戦、日の出、オーロラを見ることができ友人とカナダの大自然を満喫しています。Thunder Bay はカナダの中でも晴れの日が多い地域で、これまでに2日ほどしか雨を経験していません。

寮はいくつかのハウスに分かれており、一人部屋で過ごします。30人ほどのメンバーと生活しており、トイレとシャワー、洗濯機は共有でキッチンはありません。朝昼晩のご飯は大学内のビュッフェ形式のカフェテリアで友人と食べます。アジア系のメニューが多いです。学生が使えるジムやテニスコート、体育館、パブ、カフェなど施設が充実しています。

地域の治安は思っていたより良いと感じています。キャンパスも市内も非常にきれいで自然が豊かです。スリや差別、変質者に話しかけられる経験も今のところありません。スーパーでもバスの中でも地域の人とはとても気さくです。バスは時間が遅れることがしばしばあるので Google Map で遅延情報を確認します。Walmart という大型スーパーへ学生パスを使ってバスで行くことが多く、そこで食品や生活用品、洋服、家具など何でもそろえることができます。

気温が一桁になってきたためか体調を崩す友人が多くいます。睡眠や食事をしっかりと、体調管理をしていきたいです。また、今週の間テスト期間の後には reading week という一週間の休暇があり、学生は勉強したり旅行したりと自由に過ごすことができます。大学内でもイベントがあるようでとても楽しみです。



↑キャンパス内でのオーロラ観測



↑よく訪れるマリーナパーク



↑ 大学チームのホッケーゲーム観戦

↓ キャンパス内の自然



↓週末のスポーツイベント

